

## 特別管理産業廃棄物処理計画書

平成23年6月1日

大分県知事 廣瀬勝貞 殿

提出者 鎌倉 芳明（工場管理課）  
 住 所 大分県日田市石井町3丁目793番1  
 氏 名 TDK株式会社 三隈川工場  
 工場長 幸田 宏

電話番号 0973-24-1111

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第8項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、この書面を添えて提出します。

事業者の名称	TDK株式会社 三隈川工場		
事業場の所在地	大分県日田市石井町3丁目793番1		
事業の種類	【2999】電気機械器具製造業		
前年度の特別管理産業廃棄物発生量	（種類） 廃油/廃溶剤 廃油/含ウレタン	その他	合計
	（発生量） 47.3 0.9	0.2	48.3 t
本年度の目標	①特別管理産業廃棄物発生量	（種類）	
		（発生量）	＜別添I＞
	②自己直接再生利用量		＜別添I＞
	③自己直接埋立処分又は海洋投入量		＜別添I＞
	④自己中間処理量		＜別添I＞
⑤自己中間処理残さ量		＜別添I＞	



⑥自己中間処理後再生利用量	<別添 I >
⑦自己中間処理後自己埋立処分又は海洋投入量	<別添 I >
⑧直接委託及び自己処理後委託処分量	<別添 I >
*事務処理欄	

備考

- 1 この様式は、前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに一枚作成し、廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の17の2の基準に従って作成した特別管理産業廃棄物処理計画に添えて提出すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 4 「前年度の特別管理産業廃棄物発生量」の欄には、前年度に当該事業場において生じた特別管理産業廃棄物の種類及び種類ごとの発生量を記入すること。
- 5 「本年度の目標」の欄には、当該年度の特別管理産業廃棄物処理に関して①～⑧の欄のそれぞれに、(1)から(8)に掲げる量について、その目標量を記入すること。
  - (1) ①欄 当該事業場において生じる特別管理産業廃棄物の種類及び種類ごとの発生量
  - (2) ②欄 (1)の量のうち、直接自ら再生量する量
  - (3) ③欄 (1)の量のうち、直接自ら最終処分場に埋立処分する量する量
  - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理する量
  - (5) ⑤欄 特別管理産業廃棄物について自ら中間処理を行った後の産業廃棄物  
(特別管理産業廃棄物)の量
  - (6) ⑥欄 (5)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却する量
  - (7) ⑦欄 (5)の量のうち、自ら最終処分場に埋立処分する量及び海洋投入処分する量
  - (8) ⑧欄 (1)の量のうち、他人に委託して処理する量に、(5)の欄のうち他人に委託して処理する量を加えた量
- 6 \*欄には、何も記入しないこと。

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

平成23年6月1日

大分県知事 廣瀬勝貞 殿

提出者 鎌倉 芳明 （工場管理課）

住所 大分県日田市石井町3丁目793番1

氏名 TDK株式会社 三隈川工場  
工場長 幸田 宏

電話番号 0973-24-1111

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第9項の規定に基づき、平成22年度の特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業者の名称	TDK株式会社 三隈川工場			
事業場の所在地	大分県日田市石井町3丁目793番1			
事業の種類	【2999】電気機械器具製造業			
特別管理産業廃棄物発生量の目標	(種類)	廃油/廃溶剤 油/含ウレタン	その他	合計
	(発生量)	52.5 1.0	0.2	53.7 t
計画の実施状況	①産業廃棄物発生量	(種類)		
		(発生量)	<別添I>	
	②自己直接再生利用量		<別添I>	
	③自己直接埋立処分又は海洋投入量		<別添I>	
	④自己中間処理量		<別添I>	
⑤自己中間処理残さ量		<別添I>		





⑥自己中間処理後再生利用量	<別添 I >
⑦自己中間処理後自己埋立処分又は海洋投入量	<別添 I >
⑧直接委託及び自己処理後委託処分量	<別添 I >
*事務処理欄	

## 備考

- 1 この報告は、6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「特別管理産業廃棄物発生量の目標」の欄には、前年度に特別管理産業廃棄物処理計画に記載した産業廃棄物発生量に関する目標を記載すること。
- 4 「計画の実施状況」の欄には、前年度の産業廃棄物処理に関して①～⑧の欄のそれぞれに（1）から（8）に掲げる量を記入すること。
  - （1） ①欄 当該事業場において生じる産業廃棄物の種類及び種類ごとの発生量
  - （2） ②欄 （1）の量のうち、直接自ら再生量する量
  - （3） ③欄 （1）の量のうち、直接自ら最終処分場に埋立処分する量及び海洋投入処分する量
  - （4） ④欄 （1）の量のうち、自ら中間処理する量
  - （5） ⑤欄 自ら中間処理を行った後の産業廃棄物の量
  - （6） ⑥欄 （5）の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却する量
  - （7） ⑦欄 （5）の量のうち、自ら最終処分場に埋立処分する量及び海洋投入処分する量
  - （8） ⑧欄 （1）の量のうち、他人に委託して処理する量に、（5）の欄のうち他人に委託して処理する量を加えた量
- 5 \*欄には、何も記入しないこと。

## (分) 様式第2号

特別管理産業廃棄物処理計画				
事業場の名称	TDK株式会社 三隈川工場			
所在地	大分県日田市石井町3丁目793番1			
事業の種類 【日本標準産業分類】	【2999】電気機械器具製造業			
(1) 事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イ〜トに沿って、事業の概要を記載すること。</li> <li>・製造フローシート、工場配置図、廃棄物フロー等を添付すること</li> </ul>			
イ 資本金	32,641百円			
□ 従業員数等	総数	255 人	うち正社員数	250 人
ハ 製造品出荷額等 又は元請完成工事高等	5,174	百万円		
ニ 前年度の特別管理産業 廃棄物の種類・発生量	種類	廃油	発生量	48 t
ホ 製造概要又は 建設工事請負実績	機能性フィルムの製造			
ヘ 事業展望	・デジタルテープに関しては増産傾向にあるが、他は減少傾向が続く。			
ト 連絡先	所属部署	工場管理課	TEL	0973-24-1111
	氏名	鎌倉 芳明	FAX	0973-24-1493

(2) 策定事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イ〜トに沿って、事業の概要を記載すること。</li> <li>・計画の本文（図表等を含む）を添付すること。</li> </ul>
イ 計画期間	平成23年4月1日〜平成24年3月31日（1年間）
□ 特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1997年ISO14001の認証取得し、工場長をトップに各機能・部署が参画し、環境委員会にて見直し・改善を継続的に実施している。（環境委員会⇒4回/年の開催）</li> <li>・特別管理産業廃棄物管理責任者による、構内の定期巡回及び指導の実施（特別管理産業廃棄物管理責任者⇒鎌倉 芳明）</li> </ul>
ハ 特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項	・廃油の減量化及び有価物化を計画し、段階的に削減を実施していく。
ニ 特別管理産業廃棄物の分別に関する事項	・廃棄物の内容別及び処理先別に標準化済み、継続維持管理する。
ホ 特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別管理産業廃棄物は、全て再生利用にて処理を実施している。</li> <li>・廃油の無価販売から有価販売化に移行を計画</li> </ul>
ヘ 特別管理産業廃棄物の処理に関する事項 （上記に関する事項を除く）	・処理先の選定にあたっては、委託処理の最終処理までを確認し、契約を締結するように努める。
ト 特別管理産業廃棄物を適性に処理するために講じようとする措置に関する事項	・1回/年の処理先の現地確認を実施し、自社作成のチェック表により適性に処理されているかの確認を行っている。



①産業廃棄物の発生量

2011/6/1

①産業廃棄物	発生量の目標	a産業廃棄物等発生量	b有償物量	①産業廃棄物発生量(H2O) ①=a-b	②自己直接再生利用量	③自己直接埋立処分又は海洋投入量	④自己中間処理量	⑤自己中間処理による減量	⑥自己中間処理残さ量	⑦自己中間処理後再生利用量	⑧自己中間処理後委託処分量	e直接委託処分量			⑨委託処分量		
												e=①-②-③-④			⑩=d+e		
												再生	中間処理(再生以外)	最終処分	再生	中間処理(再生以外)	最終処分
汚泥	43.3	48.2	0.0	48.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	48.2	0.0	0.0	48.2	0.0	0.0
廃油		3.3	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
廃プラ		567.7	567.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
廃テーパー	98.9	109.9	0.0	109.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	109.9	0.0	0.0	109.9	0.0	0.0
粉塵廃プラ他		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
廃プラ	11.0	12.3	0.0	12.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
紙くず	12.5	27.2	13.3	13.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	13.9	0.0	0.0	13.9	0.0	0.0
金属くず		47.8	47.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
銅他		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ガラス瓶	1.2	1.3	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0
蛍光管		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一廃	24.2	26.9	0.0	26.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
小計	191.2	844.6	632.1	212.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	185.5	0.0	26.9	185.5	0.0	26.9
汚泥	43.3	48.2	0.0	48.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	48.2	0.0	0.0	48.2	0.0	0.0
廃油	0.0	3.3	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
廃プラ	109.9	689.9	567.7	122.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	122.2	0.0	0.0	122.2	0.0	0.0
紙くず	12.5	27.2	13.3	13.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	13.9	0.0	0.0	13.9	0.0	0.0
金属くず	0.0	47.8	47.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ガラスくず	1.2	1.3	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0
一廃	24.2	26.9	0.0	26.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
産廃合計	191.2	844.6	632.1	212.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	185.5	0.0	26.9	185.5	0.0	26.9

②特別管理産業廃棄物の発生量

②特別管理産業廃棄物	発生量の目標	a産業廃棄物等発生量	b有償物量	①産業廃棄物発生量(H2O) ①=a-b	②自己直接再生利用量	③自己直接埋立処分又は海洋投入量	④自己中間処理量	⑤自己中間処理による減量	⑥自己中間処理残さ量	⑦自己中間処理後再生利用量	⑧自己中間処理後委託処分量	e直接委託処分量			⑨委託処分量		
												e=①-②-③-④			⑩=d+e		
												再生	中間処理(再生以外)	最終処分	再生	中間処理(再生以外)	最終処分
廃油 廃溶剤	47.3	212.7	160.2	52.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	52.5	0.0	0.0	52.5	0.0	0.0
廃油 含ウレタン	0.9	1.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0
廃油 含水廃油	0.2	0.2	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0
廃油合計	48.3	213.9	160.2	53.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	53.7	0.0	0.0	53.7	0.0	0.0